

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

2025年度 事業計画・収支予算書



公益財団法人 ベネッセこども基金

2025 年度 事業計画書

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2024 年度は、中期計画の 4 年目の年。ベネッセこども基金として、より幅広く、こどもを取り巻く課題に取り組めるよう、助成事業では新助成プログラムの開発に取り組んだ。また助成団体サポートもよい形で定着化し、経済困難では自主事業を開始した。それぞれの事業については活動内容も精力的に広報してきた。

助成団体サポートや広報は参加者の満足度も高く、2025 年度も手法は踏襲する。自主事業では経済的困難に加えて、災害地での新しい学び場づくりにも地域団体と連携して取り組む。2025 年度は財団設立 10 周年でもあり、広報も強化していく。

また、助成事業については、新たに「多様な困難を抱えるこどもの学び支援活動助成」と「経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成」の単年助成をリリースする。申請団体が迷わないよう早期からリリースし、周知のための説明会強化を図る。

I : 2025 年度の重点テーマ

1. 【助成事業】「新助成プログラム群」リリース

- ・選考委員と合意形成してきた新助成プログラム群のリリースおよび周知のための説明会強化
- ・「経済助成（単・複）」「病気助成」「多様助成」「災害」を迷いなく選べる広報を 1 Q から展開

2. 【自主事業】奥能登の復興期の新しい学び場や中高生リーダーを育てる取り組み

- ・災害助成で出会った助成団体と連携した、被災地×過疎地の「学び」と「人」の復興支援

3. 【広報】ベネッセこども基金の 10 周年（こども×学び支援のこれまでとこれから）

- ・こども基金の 10 年間の活動を通して、これまでのこども支援のトレンドと今後の方向性を考える
- ・こども基金のステークホルダーおよびこども支援のキーマンとともに考えるセッションを展開

Ⅱ：重点テーマの概要

1. 【助成事業】「新助成プログラム群」リリース

2025 年度は、これまでの助成に加え、次の 2 つの新助成プログラムをリリースする。

「多様な困難を抱えるこどもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

「経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動」助成【単年】（予算枠 1,000 万円）

なお、「経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動」助成【複数年】（予算枠 1,500 万円）は残すが、予算枠を 2,000 万円から 1,500 万円に変更。

「重い病気を抱えるこどもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）の採択は変更なし。

「被災したこどもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠 2,000 万円）も変更なし。

※2019 年度より、緊急支援に特化した災害支援助成を継続実施。年度開始時に通年での募集要項を財団サイトに公開。災害発生時に助成の実行を判断し、要項に沿って公募する。

※なお、これまでは助成プログラム名に「子ども」を使っていたが、今後はこども家庭庁から「こども」表記が推奨されたことから、「こども」に統一する。

2. 【自主事業】奥能登の復興期の新しい学びモデルや担い手を支える取り組み

① 奥能登の「新しい学びの場」創出

（主な協働先：のと復耕ラボ）

多重被災地×中山間地域である奥能登では、人口流出や統廃合の流れで、こどもの学び環境が急激に悪化。被災して県外から来る大学生たちの主体性や意見表明に刺激を受け、小中高生やその保護者たちから、こどもの声を大切にする「新しい学びの場」創出のニーズが高まっている。

奥能登には豊かな自然や独自の文化がある一方、その良さを活かした奥能登らしい「学びの場」モデルのイメージがない。過疎地ながら、「教育」を

起点に地域活性した事例や専門性のある人から学びたいが、リソースや情報が圧倒的に不足。

中山間地域や離島などの過疎地において「新しい学びの場」を創出し、こどもの人口増や地域の活性化に成功した自治体や専門家から事例を学ぶ機会をつくる。奥能登の関係者たちで横断的に対話を重ねて、未来のイメージ像を創り上げる

② 能登の中高生を復興イノベーターに育成する課題解決プログラム

(主な協働先：学生有志団体 石川・能登未来知図)

自然災害のすべてが起きた能登では、防災・減災・復興を担う人材を育つ拠点になれる、というコンセプトで、金沢大学の学生らが能登の中高生が復興イノベーターに育つ「恩送り」プログラムを開催する。

急性期の医療現場のリアルや、ボラサポ、混乱期、女性視点の課題など、多様な専門家からのインプットを受け、中高生がフィールドワークなどを経て、チームで課題解決の未来プランを作成。大阪万博 Voyage や能登未来フォーラムなどで成果発表を行い、能登イノベーションハブを創る。

3. 【広報】ベネッセこども基金の10周年（こども×学び支援のこれまでとこれから）

・「様々な課題を抱えていても、学びや体験が保障され、将来の選択ができる社会」に向けての活動の発信を充実させることで、多くの人の共感を呼び、目標達成を早める。

・「こども支援での先駆的な取り組みや 今後の課題」を発信していくことを目指す。

・10周年というタイミングに乗せ、上記をより広く印象づけ、支援につなげる機会とする。

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【安心安全】

・下記コンテンツをより広く効率的に普及する。

「防犯」「スマホ」冊子（デジタル版での配布も開始）

【病気や障がい】

- ・全国の病弱児支援者のための医教連携相談ネットワークづくり
(主な協業先：認定 NPO 法人ポケットサポート)

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべてのこどもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。

- ・公教育における D&I 教育の推進
(主な協業先：一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ)
- ・マイノリティー性を抱えるこどもによる当事者研究と社会モデルの推進
(主な協業先：リバネス)
- ・高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施
(協業先：全国高校生英語ディベート連盟 (HEnDA)・国際委員会)

IV. 会議体スケジュール (予定)

	日時	主な議案
第 1 回理事会	5 月 19 日 (月) 10:00~12:00	・ 2024 年度事業報告・決算 ・ 評議員会の開催
第 1 回評議員会	6 月 11 日 (水) 10:00~10:30	・ 2024 年度事業報告・決算 ・ 理事選任
第 2 回理事会	6 月 11 日 (水) 10:30~12:00	・ 特別寄附金受入 ・ 代表理事活動報告
第 3 回理事会	11 月 18 日 (火) 10:00~12:00	・ 「重い病気」助成団体承認 ・ 「多様」助成団体承認 ・ 代表理事活動報告
第 4 回理事会	3 月 10 日 (火) 10:00~12:00	・ 2026 年度事業計画/予算 ・ 「経済」(単・複)助成団体承認 ・ 代表理事活動報告

Ⅵ. 予算

2025年度 公益財団法人ベネッセこども基金 収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース) 2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2024年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	185,695	20,000	205,695	168,048	37,647
受取寄付金	3,839	0	3,839	3,839	0
受取寄付金振替額	181,856	20,000	201,856	164,209	37,647
雑収益	33	0	33	782	▲ 749
受取利息	33	0	33	33	0
雑収益	0	0	0	749	▲ 749
経常収益計	185,728	20,000	205,728	168,830	36,898
(2) 経常費用					
事業費	185,728	0	185,728	148,830	36,898
原稿料	2,497	0	2,497	1,110	1,387
監修費	55	0	55	60	▲ 5
法定福利費	5,250	0	5,250	4,190	1,060
給料手当	30,000	0	30,000	23,990	6,010
旅費交通費	13,525	0	13,525	9,630	3,895
通信運搬費	639	0	639	2,290	▲ 1,651
減価償却費	20	0	20	20	0
消耗品費	100	0	100	1,170	▲ 1,070
印刷製本費	0	0	0	190	▲ 190
保険料	10	0	10	0	10
諸謝金	1,040	0	1,040	730	310
租税公課	0	0	0	10	▲ 10
支払負担金	19,030	0	19,030	22,950	▲ 3,920
支払助成金	88,869	0	88,869	62,410	26,459
研修費	2,730	0	2,730	1,660	1,070
委託費	7,114	0	7,114	7,180	▲ 66
普及宣伝費	2,915	0	2,915	2,240	675
渉外費	684	0	684	420	264
制作費	4,440	0	4,440	4,410	30
報酬	5,045	0	5,045	2,920	2,125
会議費	1,695	0	1,695	1,180	515
新聞図書費	40	0	40	70	▲ 30
雑費	30	0	30	0	30
管理費	0	25,640	25,640	23,233	2,407
役員報酬	0	1,000	1,000	800	200
給料手当	0	7,500	7,500	5,960	1,540
福利厚生費	0	50	50	40	10
会議費	0	200	200	1,530	▲ 1,330
旅費交通費	0	80	80	430	▲ 350
通信運搬費	0	500	500	320	180
消耗品費	0	500	500	480	20
新聞図書費	0	120	120	120	0
印刷製本費	0	800	800	570	230
光熱水料費	0	300	300	300	0
賃借料	0	2,000	2,000	1,870	130
保険料	0	10	10	10	0
租税公課	0	30	30	30	0
支払負担金	0	200	200	420	▲ 220
雑費	0	300	300	220	80
法定福利費	0	1,250	1,250	860	390
普及宣伝費	0	200	200	0	200
渉外費	0	70	70	70	0
支払手数料	0	480	480	460	20
委託費	0	7,200	7,200	5,840	1,360
制作費	0	2,000	2,000	1,550	450
研修費	0	200	200	703	▲ 503
原稿料	0	650	650	650	0
経常費用計	185,728	25,640	211,368	172,063	39,305
当期経常増減額	0	▲ 5,640	▲ 5,640	▲ 3,233	2,407
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲ 5,640	▲ 5,640	▲ 3,233	2,407
当期一般正味財産増減額	0	▲ 5,640	▲ 5,640	▲ 3,233	2,407
一般正味財産期首残高	6,656	35,550	42,206	45,439	▲ 3,233
一般正味財産期末残高	6,656	29,910	36,566	42,206	▲ 5,640
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	170,000	▲ 20,000
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	170,000	▲ 20,000
一般正味財産への振替額	▲ 181,856	▲ 20,000	▲ 201,856	▲ 164,209	37,647
一般正味財産への振替額	▲ 181,856	▲ 20,000	▲ 201,856	▲ 164,209	37,647
当期指定正味財産増減額	▲ 51,856	0	▲ 51,856	5,791	57,647
指定正味財産期首残高	339,811	0	339,811	334,020	5,791
指定正味財産期末残高	287,955	0	287,955	339,811	▲ 51,856
Ⅲ 正味財産期末残高	294,611	29,910	324,521	382,017	▲ 57,496

VII. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。